

佐世保工業高等専門学校		開講年度	令和02年度 (2020年度)		授業科目	国語
科目基礎情報						
科目番号	0045		科目区分	一般 / 必修		
授業形態	講義		単位の種別と単位数	履修単位: 2		
開設学科	電気電子工学科		対象学年	3		
開設期	通年		週時間数	前期:2 後期:2		
教科書/教材	現代文B（明治書院）					
担当教員	川口 良治					
到達目標						
1. 論理的な文章(論説や評論)の構成や展開を的確にとらえ、要約できる。 2. 論理的な文章(論説や評論)に表された考えに対して、その論拠の妥当性の判断を踏まえて自分の意見を述べることができる。 3. 文学的な文章(小説や随筆)に描かれた人物やものの見方を表現に即して読み取り、自分の意見を述べることができる。 4. 常用漢字の音訓を正しく使える。主な常用漢字が書ける。 5. 類義語・対義語を思考や表現に活用できる。 6. 社会生活で使われている故事成語・慣用句の意味や内容を説明できる。 7. 専門の分野に関する用語を思考や表現に活用できる。						
ルーブリック						
	理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1	18歳(選挙権年齢)相応の漢字熟語や慣用表現等の語彙を習得し、正確に表記、使用できる。		習得している語彙が18歳(選挙権年齢)相応には不足しているが、身につけようとする意識が高い。		習得している語彙が18歳(選挙権年齢)相応に達しておらず、身につけようとする意識も乏しい。	
評価項目2	比喩的、象徴的な表現に込められた含意を理解し、文学作品を鑑賞できる。		比喩的、象徴的な表現に込められた含意の理解に関心があり、文学作品を鑑賞できる。		比喩的、象徴的な表現に込められた含意の理解に関心がなく、文学作品を鑑賞できない。	
評価項目3	現代評論の論旨を、身近で具体的な問題と関連付けて、正確に理解できる。		現代評論の論旨を、身近で具体的な問題と関連付ける意識を持ち、理解できる。		現代評論の論旨を、身近で具体的な問題と関連付けることに関心がなく、理解できない。	
学科の到達目標項目との関係						
教育方法等						
概要	読む・考えるという日本語の能力を育成することにより、社会において求められる論理的かつ多角的な理解力、柔軟な思考力を培う。また、文学的な文章の鑑賞を通して日本語の言語文化についての理解を深める。					
授業の進め方・方法	授業は教員からの講義と、学生同士のピア活動を並行して行う。主体的に取り組み、他者の意見を取り込むことで自らの思考を深めることを強く求める。提出した文章などを、授業内で公開することも往々にしてあるため、これを念頭に取り組むこと。また漢字テストは毎週行い、成績評価に含める。また、Blackboardにて資料提供を行う。					
注意点	試験の平均点の3割に満たない者については、成績不振者のための追試験を実施しない。 各授業項目および授業時間の配分は、学生の理解・習得の状況を確認しながら、変更することがあり得る。					
授業計画						
		週	授業内容		週ごとの到達目標	
前期	1stQ	1週	ガイダンス 随想「桜 との出会い」 (馬場あき子)		学習目標を提示し評価法を理解する。桜の美しさをどのような意識で自分の中に取り入れたのかを読み取る。	
		2週	評論「脳のなかの古い水路」 (福岡伸一)		「空目」という言葉を通じて何を訴えているのかを理解する。全体と部分との関係を的確に捉えた読みを心掛ける。	
		3週	評論「脳のなかの古い水路」 (福岡伸一)		「脳」の認識回路がどのようなものであるかを読み取り、「古い水路」が何を意味しているのかを理解する。	
		4週	小説「山月記」 (中島 敦)		小説の構造をなす事項(時・場・人物・事件設定)や李徴の心理を的確に読み取ることで、李徴がどのような人物として描かれているか考える。	
		5週	小説「山月記」 (中島 敦)		小説の構造をなす事項(時・場・人物・事件設定)や李徴の心理を的確に読み取ることで、李徴がどのような人物として描かれているか考える。	
		6週	小説「山月記」 (中島 敦)		人間が虎になるという虚構をととして、筆者が何を言おうとしたのかを考える。	
		7週	詩「二十億光年の孤独」 (谷川俊太郎)		タイトルに込められた作者の心情を探る。一つの言葉に凝縮された意味を味読することで、現代詩の読解の方法について知る。	
		8週	前期中間試験			
	2ndQ	9週	評論「意味論的旅と越境」 (今福龍太)		「政治的ボーダー」「政治的テリトリー」の意味を読み取り、それが「認識の不条理」とどのように結びつくかを考える。	
		10週	評論「ものとこと」 (木村 敏)		「もの」と「こと」との関係をしっかり読み取る。それが部分である「翻訳」「言語芸術」等とどう関わるのかを理解する。	
		11週	評論「評論の窓」 (小松英雄)		前の2週と関連づけながら、論理的文章の視点や読解というマクロ的な捉え方を提示する。	
		12週	小説「ハキリアリ」 (小川洋子)		全体を通読後、作者の執筆動機がどこにあるのかについて一人ひとりの仮説を立ててみる。	
		13週	小説「ハキリアリ」 (小川洋子)		「自分」の生い立ちにまつわる過去を整理する。その中でも、特に「ハキリアリ」の物語中における認識を深める。	
		14週	小説「ハキリアリ」 (小川洋子)		前時で考えた「自分」の過去が、現在とどのように繋がるのかを読み取る。各自で立てた仮説の検証を行う。	

		15週	俳句「金剛の露」（正岡子規 他）	それぞれの句に凝縮された情景・心情・世界観を読み解く。一つの言葉の幅や重みについて理解を広げる。
		16週	前期定期試験	
後期	3rdQ	1週	小説「こころ」（夏目漱石）	全体をしっかりと通読する。読後に感じたことや疑問点などをノートにしっかりとまとめる。
		2週	小説「こころ」（夏目漱石）	登場人物に関する相関図を作成する。特に「私」と「K」との関係を丁寧に読み取り、事件に至る経緯を理解する。
		3週	小説「こころ」（夏目漱石）	明治という時代の制度や理念などを調べ、登場人物の行動を読み取るなかから、人間の精神のあり方について考える。
		4週	小説「こころ」（夏目漱石）	小説の時代背景や登場人物の心理を、言葉による描写に則して把握することができる。作品を多様な視点から解釈、鑑賞することができる。本文中に使用されている語句（漢字熟語、外来語、慣用句等）の意味を理解し、自らの表現においても使用できる。
		5週	評論「異文化理解」（青木 保）	筆者の言う「異文化理解」とはどういうことかについて、分かりやすくまとめる。
		6週	評論「異文化理解」（青木 保）	本文で提示している個々の事例がどのような意図からなのかを考える。
		7週	詩「永訣の朝」（宮沢賢治）	「いもうと」に向けた思いと「みぞれ」や「雪」の描写との関連性を読み取る。また、方言の効果についても考察する。
		8週	後期中間試験	
	4thQ	9週	評論「いのちのかたち」（西谷 修）	4つの小見出し毎の要約文を、それぞれにまとめてみる。
		10週	評論「いのちのかたち」（西谷 修）	現代の「生命科学」が「いのち」とどのように関わっているのかを読み解くことで、「いのち」とは何かについて考える。
		11週	小説「舞姫」（森 鷗外）	全体を読む。擬古文に慣れる。
		12週	小説「舞姫」（森 鷗外）	時代背景を踏まえながら、「豊太郎」が「エリス」と出会うまでの場面を読み深める。
		13週	小説「舞姫」（森 鷗外）	「豊太郎」にまつわる環境の変化と、その時点における「豊太郎」の心情の変化を読み解く作業を行う。
		14週	小説「舞姫」（森 鷗外）	親友「相沢」との再会を機に「豊太郎」の心情がどのように動いたかを読み取る。さらに、「天方大臣」の存在も絡めながら。
		15週	評論「グローバリゼーションの光と影」（小熊英二）	「グローバリゼーション」と「ナショナリズム」との関係は筆者がどのように捉えているのかを理解する。
		16週	後期定期試験	

評価割合				
	試験	小テスト	提出物	合計
総合評価割合	80	10	10	100
基礎的能力	80	10	10	100
専門的能力	0	0	0	0